

EAN-128(JAN-128)

公開日時: 2009年 11月 16日 02:12:23
最終更新日時: 2009年 11月 16日 12:32:54
PDF変換日時: 2010年 9月 8日 18:40:44
(by admin)

UCC/EAN-128, GS1-128としても知られている。

構文

```
<bc:barcode message="42012345ñ910112345678912345678ð">  
  <bc:ean-128>  
    <bc:height>15mm</bc:height>  
    <bc:module-width>0.21mm</bc:module-width>  
    <bc:check-digit-marker>ð</bc:check-digit-marker>  
    <bc:group-separator>ñ</bc:group-separator>  
    <bc:template>(420)n5(91)n2+n9+n2-8+cd0</bc:template>  
    <bc:quiet-zone-enabled="true">10mw</bc:quiet-zone>  
    <bc:human-readable>  
      <bc:placement>bottom</bc:placement>  
      <bc:font-size>8pt</bc:font-size>  
      <bc:omit-brackets>>false</bc:omit-brackets>  
    </bc:human-readable>  
  </bc:ean-128>  
</bc:barcode>
```

メモ

- EAN-128はCode128シンボロジーを基礎にしている。
- {height}は少なくともバーコードの長さの0.15倍か0.25インチ以上無ければならない
- {template}の値は通常は任意である。実装すると、AI（アプリケーション識別子）を検査することで正しいテンプレートを識別しようとする。組み込まれた定義済みアプリケーションテンプレートのテーブルが用意されている。
- {template}の書式は（カッコに囲まれた）AIナンバーの繰り返しの集合で、後にフィールド記述が続く。許容されるデータ型は「n」（数字）、「an」（英数字）、「d」（日付）と「cd」（チェックディジット）である。「cd」はAIの後の最初の文字から始まるチェックディジットを計算する。「cd0」はチェックディジットの計算にAIを含む（USPSで使われる）。複数のフィールド部は「+」文字で区切れる。
- 例：「n13」はちょうど13桁の数字フィールドを定義する。「n13+cd」はちょうど13桁の数字フィールドにチェックディジット加えたものを定義する。「an1-9」は1から9文字の英数字フィールドを定義する。
 実例：”(01)n13+cd(421)n3+an1-9(10)an1-20
- {group-separator}はメッセージの中で使うグループの区切り文字を定義する。デフォルトではASCII (0x1D, 035) または0xF1 がグループ区切り文字として認識される。XSL-FOアプリケーションでは、0xF1はASCIIの替わりに使う必要があるかもしれない。

- {check-digit-marker} は、メッセージの中で、バーコード 4Jにより自動的に計算されるチェックディジット用のプレースホルダーとして使う文字を表す。
- もし、{omit-brackets}の設定が「true」の場合、可読領域のAIの周りにカッコが表示されない。

メッセージ書式

- 有効な文字：全ての7ビットASCII(US-ASCII)文字がサポートされている
- ファンクション1と3が使用可能で、メッセージの中では、ASCII文字の0xF1 (241), 0xF3 (243)としてコード化される。

[バーコードXMLフォーマットへ戻る](#)
